

受験で終わらない人間基礎能力の向上

授業は教科書や参考書の内容を高い指導力で、真面目に厳しくやればテストでいい点が取れるかもしれませんが。でもそれだけの授業は、能力が異なる生徒へ同じ知識を与えることしかできません。

例えばミライ塾では、授業中、雑談もします。こんなことがあったけど、どう思うか??
生徒一人一人に質問します。正解がない問いに対し、自分はこう考え、みんなの前で言葉にする。
簡単そうに見えますが、大人でもできない、苦手な人は沢山いるでしょう。
そして、そんな何気なく見える能力が学力と同じくらい社会に出ると求められるのです。

これはほんの一例ですが、小道具や着ぐるみを使った授業、興味があるなら教室を出て教える学びもあります。そんな一見変わった授業に、生徒の一人一人の能力を向上させるヒントがあるのです。

見せかけだけの授業ではない！

真面目にやる授業も遊んで見える授業も、生徒の能力を伸ばすため真剣に取り組んでいます。
そして、生徒の人としての基礎能力を上げることは、確実に学力の向上に繋がっています！

